

【がん種】 [非小細胞肺癌](#)
 【レジメン名】 CBDCA+PEM+Pembrolizumab
 【登録番号】 100244
 【1コースの期間】 3週間
 【総コース数】 進行・再発:4コースまで(終了後にPDでなければPEM+Pembolizumabを施行する)
 【催吐性リスク】 中等度:カルボプラチン、軽度:アリムタ、最小度:キイトルーダ
 【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):カルボプラチン、ノンビシカント(非壊死性):キイトルーダ, アリムタ
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
 【根拠論文】 N Engl J Med 378:2078-2092, 2018.

【点滴の時間】 [day1]3時間15分
 【費用】 編集中
 【その他】 対象患者:非扁平上皮癌.
 カルボプラチン:アルミニウムが用いられている機器の使用禁止.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日				
					1	2	3	...	21
1	調剤用 パンピタン末 アリムタ初回投与の7日以上前から開始し、最終投与日から22日目まで連日服用する	1 g/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○
2	ビタミンB12注 1000 μg/1mL アリムタ初回投与の7日以上前に投与し、最終投与日から22日目まで9週間毎に投与する	1 A	筋注		9週間毎				
3	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○				
4	生理食塩液 50mL キイトルーダ点滴静注 調製開始から6時間以内に投与終了	1 B 200 mg	側管	30分 フィルター使用	○				
5	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○				
6	生理食塩液 100mL アロキシン静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分	○				
7	生理食塩液 100mL アリムタ注射用 投与直前に調製	1 B 500 mg/m2	側管	10分	○				
8	5%ブドウ糖液 250mL カルボプラチン点滴静注「NK」	1 B AUC5	側管	1時間	○				
9	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝食後		○	○		